

安保破棄ニュース

No. 460
2015.8.7

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六-六七六三-三三三三
FAX 〇六-六七六三-三三三六
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

稀代の悪法 「戦争法案」を 廃案へ



衆議院特別委員会での強行採決の様子

参議院段階に入って、戦争法案で自衛隊が出来る具体的な問題が指摘され、「殺し、殺される」危険な事態に陥ることが明らかになっています。「攻撃されたら逃げる」「魚雷の射程外で米艦支援を行うから安全」など無責任極まる安倍内閣に、審議を深めれば深めるほど「戦争法案は必要ない」の声が大きくなっています。

同時に、磯崎首相特別補佐人の「法的安定性は関係ない」との法治国家否定の重大な発言を陳謝だけで済ましています。さらにシールズの学生たちに対する自民・武藤貴也衆院議員の「彼らの主張は、戦争に行きたくないという自己中心、利己的な考え。戦後教育のせいだろう」というツイッターも指摘されています。そこには「戦争はよくない」と決めた憲法の精神さえありません。6月末には、百田尚樹氏が自民若手の研修会で「沖縄2紙をつぶせ」の発言があったばかり。

戦争法案は、憲法違反を公然と進める安倍政権によるクーデターのなものです。安倍政権に従う取り巻きの反民主主義的な発言の数々は、独裁国家の行方を示しています。

廃案への展望は、国民世論にうったえて、「戦争法案を廃案にすべき」という声をさらに広げ、60%から80%以上へと引き上げることです。

8月30日には、国会周辺で10万人包囲行動が行われ、同日16時から扇町公園で、おおさか府民大集会とパレードが行われます。これを目標として、地域・草の根で廃案の世論、署名を広げることです。

15日の敗戦記念日頃には、安倍政権は「戦後70年談話」を発表します。同時にナンバで行われる母親連絡会の赤紙配りや憲法会議・共同センターなどの宣伝行動を成功させましょう。

暑い夏ですが、8月までが大きな勝負を決する時期です。身体を壊さないようにしながら、がんばりましょう。

平和・友好団体共同行動

7月29日に平和友好団体など10団体で構成する戦争法反対一

7月 23宣伝行動

7月の「大阪安保定例23宣伝行動」を23日に行いました。

降ったりやんだりの雨の中でしたが、10人の参加で、150枚のビラをまき、署名も7筆集まりました。

傘をさしていても、ビラを自分から受け取りに来てくれる人が多くいました。「戦争法はアカンが、安保条約は必要やで」と言って通り過ぎる人もいましたが、そのような声も含めて、関心が高まっていることを感じることができました。

8月の「23宣伝行動」は、21日(金)に行います。いつも通り、12時から淀屋橋です。

戦争法案の即時廃案をめざす 大阪平和友好団体共同の 申し合わせとアピール

戦争法案の強行成立をねらう安倍政権の狂気の暴走政治は、以下の点で断じて許すことができません。

第一に、立憲主義と法治主義を根底から否定し、国家権力が強権的・暴力的に国民を支配する野蛮な政治体制をつくり出すことです。この政治を許せば、日本国民の命とくらし、自由と民主主義が蹂躪される国となることは火を見るより明らかです。

第二に、歴史と世界の流れに背いて、とりわけ東アジアに不信と対立を増幅させ、軍事的緊張を高めるという重大な事態をもたらすことです。対米従属を深め、アジアに敵対する時代錯誤のもと、行き当たりばったりの、戦略なき外交という点を合わせて二重に危険な国になることです。世界での孤立は避けることができません。

そして第三に、これまで諸国民が築いてきた友好と連帯の絆を破壊し、重大な障害をもたらすことです。

私たち大阪の平和友好団体は、いまこそ安倍政権の暴走を食い止め、戦争法案を廃案にするために共同してたたかいます。

私たちの呼びかけにこたえ、「戦争法案を廃案に」の一点で共同行動に参加されるよう心から訴えるものです。

2015年8月

新基地建設 絶対阻止

辺野古新基地建設の 作業1か月停止

前の仲井真知事が、2013年12月に「公有水面埋立法」による承認をしたことで、辺野古新基地建設が進められました。この法律の権限者は、都道府県知事にあります。ですから、翁長県知事は、その「承認」決定に行政上の間違い（＝瑕疵）があつたのかどうかを検証する作業を要請しました。今年2月から7月まで進められた「第三者委員会」は、報告書をまとめました。すでに、沖縄県のホームページでアップされていますが、報告書本文140ページ、資料も加えると600ページ

という大部です。

翁長県知事が、それを受けて「承認取り消し」を行うことを明らかにしていますが、「いつ」にするかだけが焦点になっていました。こうした中で、菅官房長官は、8月10日からの新基地作業の1か月停止を表明しました。

オール沖縄になった辺野古新基地建設反対で、安倍政権は行き詰っていることを示したのです。県民の世論とたたかひによって、大きく局面が動きました。翁長知事は、この期間を「集中協議期間」にする」と表明。戦争法案廃案と合わせ、新基地建設の永久停止に向けた取り組みを強めましょう。

日米合同演習反対！

9月上旬から下旬にかけて、滋賀県高島市の陸上自衛隊あいはらの演習場で、日米合同演習が行われます。この合同演習は、2年ごとに行われ、今回で14回目となります。

その中身は、日本の防衛のためではない、侵略戦争のための訓練であり、自衛隊と米軍が一体となって作戦行動をするための合同演習であることは明確になっています。前回も、オスプレイが参加し、その前には、最新の装甲車ストライカーが参加し、訓練が行われています。

この合同演習実施に反対し、戦争法を阻止する闘いを大きく広げるために、「日米合同演習反対・NO!戦争法あいはら野大集会」が、9月6日（日）14時から、滋賀県高島市今津町住吉公園にて行われます。

2年前の前回の集会には、全体で1100人を超える参加、大阪からも161人が参加しています。近畿でしっかりとつながり、戦争法反対の運動を大きくしていくためにも、今回も多く参加で成功させましょう。

住吉公園は、近江今津駅下車すぐのところ。JRで大阪駅から新快速に乗り、約1時間半で近江今津駅に着きます。（敦賀行なら直通。近江塩津行なら、京都で湖西線に乗り換え。）

これに先立ち、8月下旬に、近畿・中部防衛局要請、米領事館前抗議要請行動、伊丹にある自衛隊中部方面隊と第3師団への申し入れを行います。

大阪青年沖縄ツアー 実行委員会

「平和を考える 大阪青年沖縄ツアー第2弾」の第1回実行委員会を、7月28日の午後7時から大阪平和委員会で行いました。

「沖縄は、いま」と題して、大阪平和委員会事務局の上羽治雄さんから話をしてもらいました。

現在の沖縄における米軍基地の状況や、現在の基地反対の運動がどのように進んでいるかなどを、パワーポイントを使って分かりやすく、かつユーモアも交えて話してくださいました。参加者からも「分かりやすく、沖縄のことが知れてよかった」「運動で埋め立て仕事を止めているのはすごい」などの感想がありました。

後半は、学習会の感想や、それぞれの沖縄への思いなどを出し合い交流しました。

今回の実行委員会を行うにあたって、いくつかの団体に直接申し入れに行くなどしたこともあり、大阪市学校園教職員組合（市教）や大阪市立障害児学校教職員組合（市障協）からも参加してもらえ、全体で15人の参加でした。

最後に実行委員会体制を確認しました。実行委員長に山崎由貴さん、副実行委員長に川渕友樹さんということになり、前回より事務局体制も充実されています。

次回の実行委員会は、8月25日（火）に行います。

当面の予定

2015年

8月

- 17日（月）平和団体戦争法反対宣伝
【平和委員会沖縄連帯行動】
大阪青年沖縄ツアー事務局会議
- 21日（金）23 定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)
- 23日（日）平和団体戦争法反対宣伝
(12:00~天満駅)
- 25日（火）大阪青年沖縄ツアー実行委員会
- 29日（土）映画「日本と原発」上映
(14:00~・18:00~グリーン会館)
- 30日（日）戦争法案廃案に！おおさか大集会
(16:00~扇町公園)
国会包囲10万人行動

9月

- 2日（水）常任幹事会（10:00~大阪安保）
- 3日（木）映画「校庭に東風吹いて」成功させる会
(18:30~たかつガーデン)
- 5日（土）大阪労連大会
- 6日（日）「日米合同演習反対・NO!戦争法
9.6あいはら野大集会」
(14:00~今津町住吉公園)
- 13日（日）横須賀「原子力空母永久母港化
ゆるさない大集会」
(13:00~横須賀・ヴェルニー公園)
- 18日（金）23 定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)
- 26日（土）AALA キューバ講演会（13:30~クレオ東）
- 27日（日）延長国会閉会

10月

- 1日（木）常任幹事会（10:00~大阪安保）